

令和7年7月31日
玉野市教育委員会

「令和7年度岡山県学力・学習状況調査」結果について

1 調査の実施

(1) 調査の目的

児童生徒の学力及び学習の状況を把握・分析して指導の成果と課題を検証・改善するとともに、調査結果に基づき個々の児童生徒が自らの学習等の改善に資することを目的とする。

(2) 調査日

令和7年4月17日（木）

(3) 本市の参加状況＜小学校13校 中学校7校＞

(国語科の参加人数)

参加児童数		参加生徒数	
小学校3年生	343人	中学校1年生	365人
小学校4年生	378人	中学校2年生	317人
小学校5年生	357人		

2 本市の学力状況

※本調査は、全国値の正答率を50としたときの換算値（標準スコア）を用いる。

	小学校3年生		小学校4年生		小学校5年生	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
玉野市	51	49	51	49	49	48
岡山県	50.9	49.9	50.7	49.7	49.5	48.5

	中学校1年生			中学校2年生		
	国語	数学	英語	国語	数学	英語
玉野市	49	49	48	48	49	47
岡山県	49.9	50.2	49.4	49.4	50.0	49.4

＜小学校＞

- ・3年生国語および、4年生国語について、全国平均を上回っている。
- ・算数では全学年全国の平均値を下回っている。
- ・同一集団の推移（平均値との比較）では、5年生算数以外の3学年5教科において、数値の改善が見られた。

＜中学校＞

- ・全ての学年で全国平均を下回っている。
- ・同一集団の推移（平均値との比較）では、中学校1年生で差が減少傾向となっているが、中学校2年生については、差が開きつつある。

3 主な結果（学力調査結果の分析）

・各校によって、状況は様々ではあるが、市内の大まかな傾向としては、次のとおり。

【△調査の目標値に対して正答率が高い項目 ▼目標値に対して正答率が低い項目】

小学校3年生	
国語	算数
△漢字の読み書きの設問や、文章を書く設問	△乗法九九や、グラフを読み取り、表に表す設問 ▼直方体の面の数を問う設問

小学校4年生	
国語	算数
△漢字やローマ字の読み書きの設問や、説明文の内容読み取りの設問 ▼話し合いの際に考えをまとめる設問	△かけ算に出てくる数の意味を理解しているかどうかを問う設問 ▼あまりのある割り算の文章問題

小学校5年生	
国語	算数
△漢字の読み書きの設問 ▼相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にして書く設問	△数と計算領域の基礎的な問題 ▼図形領域の設問

中学校1年生		
国語	数学	英語
△文学的な文章の内容を読み取る設問 ▼文法、語句に関する事項	△基礎的な数の性質に関する設問や、小数の計算に関する設問 ▼平面図形やグラフの読み取りに関する設問	△単語や表現、日常会話の聞き取りに関する設問 ▼英語の文章の完成のうち文法に関する設問

中学校2年生		
国語	数学	英語
△話し合いの内容を聞き取る設問や、文法語句に関する設問 ▼説明的な文章の読み取りに関する設問	△不等式に表す設問 ▼比例反比例や、図形領域に関する設問	△リスニングで内容を聞き取る設問 ▼語形・語法・語彙の知識理解についての設問

4 主な結果（学習状況調査結果の分析）

- ・学校に行くのは楽しいと思う。（最上位層「当てはまる」）

	小学校5年生	中学校2年生
玉野市	61.1%	49.2%
県	57.1%	51.7%

- ・将来の夢や目標を持っている。（上位2層「もっている・どちらかと言えばもっている」）

	小学校5年生	中学校2年生
玉野市	87.1%	71.1%
県	87.1%	70.7%

- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。
（上位2層「してみたい・どちらかと言えばしてみたい」）

	小学校5年生	中学校2年生
玉野市	75.9%	61.1%
県	72.7%	65.0%

- ・授業は自分にあった考え方、教材、学習時間などになっていた。
（上位2層「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」）

	小学校5年生	中学校2年生
玉野市	82.4%	80.9%
県	82.1%	80.9%

- ・授業でPC・タブレットなどの機器をどの程度使用しましたか。（ほぼ毎日）

	小学校5年生	中学校2年生
玉野市	34.5%	78.1%
県	30.0%	32.7%

- ・家庭学習60分以上

	小学校5年生	中学校2年生
玉野市	58.3%	43.2%
県	53.0%	49.3%

※状況調査については、全国調査と同じ傾向となっている。

- ・学習におけるICT活用は、県平均を上回り非常に進んでいる。
- ・本市の進めるキャリア教育においては、小中学校において、県平均程度の状況となっているが、小学校において地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童が多く、玉野の魅力再発見発信事業や各校のキャリア教育の成果と考えられる。
- ・家庭学習時間は、小学校は平均以上となっているが、中学校においては少なくなっている。

※結果を受けた対応については、全国調査の分析に記載。